

令和3年度(2021年度)以降の長岡技術科学大学における入学者選抜
について【予告(2020.2.18版)】

本学では、令和元年11月29日に「令和3年度(2021年度)以降の長岡技術科学大学における入学者選抜について【予告(2019.11.29版)】」を公表したところですが、令和元年12月17日に文部科学大臣から、令和3年度入学者選抜より導入予定であった大学入学共通テストにおける記述式問題の導入を見送るとの発表がありました。

これに伴い、上記予告で発表した令和3年度入学者選抜方法等の内容について一部見直し、記述式問題(数学)及び個別選抜における国語に関する記載について削除することといたしました。

については、以下のとおり決定しましたのでお知らせします。

長岡技術科学大学では、令和3年度以降の入学者選抜において、本学アドミッションポリシーに基づき、「学力の3要素」(「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)を、より多面的・総合的に評価するため、以下のとおり入試方法を変更します。

1. 入試区分

これまで実施していた入試の呼称を下記のとおり、変更します。

(変更前)	(変更後)
一般入試	一般選抜
推薦入試	学校推薦型選抜

2. 一般選抜

(1) 一般選抜における「大学入学共通テスト」の活用について

一般選抜において、「大学入試センター試験」に代わる「大学入学共通テスト」を判定に活用します。

なお、「大学入学共通テスト」の受験教科・科目は、これまでの「大学入試センター試験」と同様に、5教科7科目とします。

(2) 一般選抜における個別選抜について

一般選抜における個別選抜では、現行の数学、理科を課します。

(3) 調査書、志願者本人が記載する資料について

学力の3要素のうち、特に「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため、志願者本人が記載する「志望調書」及び出身学校長が作成する「調査書」を判定に活用します。

3. 学校推薦型選抜

(1) 調査書、推薦書、志願者本人が記載する資料

学力の3要素のうち、特に「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」を評価するため、志願者本人が記載する「志望調書」及び出身学校長が作成する「推薦書」を面接の際の参考資料とし、判定に活用します。

また、高校での学力を評価するため、出身学校長が作成する「調査書」(「学習成績の状況」)を判定に活用します。

(2) 小論文

思考力、判断力、表現力を評価するため、小論文を課します。

(3) 面接

人物、適性及び基礎学力を評価するため、面接を課します。

4 . 英語の資格・検定試験について

英語の資格・検定試験は利用しません。

以上